

優 秀 賞

「 GATEWAY の誤った使用方法 」

公共学科 3年 伊藤蒼悟

皆さんは通学や帰宅する際、どのように気持ちを切り替えているだろうか。私は普段、GATEWAY を気持ちの切り替えに利用している。GATEWAY は下宿生以外基本的に駅からのルートで毎日、目にしていると思うが私はこの GATEWAY の下をくぐることでその1日を頑張りきるための気合を入れ、1日乗り切った達成感を味わうために GATEWAY を利用している。

なぜ、GATEWAY をそのような目的に利用しているかというところから見たときの圧倒的な存在感があり、あの存在感だからなのかはわからないが私は GATEWAY こそがこの大学の校門だと認識して通学している。神社でいうところの鳥居の役割を担っている。なので、私は通学する際、仮にどの校舎で講義を受けることになっても GATEWAY の下をくぐってから講義を受講するようにしている。実際、その目的に使うことが正しいとは言えずそれを行うことで効果があるとは言えないが入学時から続けているある種のルーティーンとして私はこの奇行を繰り返している。

この行為が原因で遅刻したりしかけることもしばしばだが、それを踏まえたとしても私の中でパワースポットとなっている GATEWAY の下をくぐるという行為は卒業までやめることはないと思う。